

埼葛退職校長会会報

第 64 号

令和 5 年 12 月 発行

発行責任者

野口 淳一

私のライフチェンジ

埼葛退職校長会

副会長 増田 晴一



令和五年度総会において副会長を拝命いたしました。力不足ではありますが、本会の発展のために努めて参りたいと思います。宜しくお願いいたします。

さて、現在、築三〇年の家をリフォームしています。耐震補強と水回りの改修です。三ヶ月間、「寝る場所は」「炊事は」「食事は」と、居場所探しと、いつの間にかため込

んだ様々な不要物をどうするか、頭を痛めました。

私自身は、禁酒・禁煙、力ロリー制限、運動実施、と医師から生活改善の指示を受けています。退職して九年、更に心身の見直しが必要なようです。人は交換や改修で新築状態にできませんが、年齢に応じた生活改善や地域活動、趣味などにより、ライフチェンジすることができまます。私にとって、退職校長会での活動もその一つです。

本会は、諸先輩方のご尽力により充実した活動を続けてきました。しかし、時と共に変化する社会に感じて、見直すべき点も生じていると思います。会員の皆様、今後退職する校長先生方にとって、何が必要なのか、より一層価値

特集

彩の国教育の日協賛
現職・退職校長教育推進協議会
班活動報告

のある会になるよう、リフォームとチェンジが必要なこともかもしれません。

未来へつながる

学びを支援

東部教育事務所

所長 鈴木美幸



埼葛退職校長会の皆様には長きにわたり、本県の教育振興に格別の御支援を賜っておりますことに、深く感謝を申し上げます。

新型コロナウイルスが五類感染症に移行し、約半年が経ちました。各学校では「令和の日本型学校教育」の目指す

べきところである「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」を一体的に進めております。その実現のためにはICTは不可欠で、これまでの実践とICTを効果的に組み合わせることで教育の質の向上を図っております。

また、次年度から埼玉県学力・学習状況調査は全面CBT化となる予定です。児童生徒一人一人のつまずきを把握し、より細かな指導に活かすとともに、学力を伸ばしているよい取組の発掘及び共有を進め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が図られるようになります。

東部教育事務所では、市町教育委員会とともに、子供たちの「未来へつながる学びを支援」してまいります。

結びに、今後とも、皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、埼葛退職校長会の益々のご発展を祈念申し上げます。

班活動の報告

会員研修について

春日部市 橋本 隆雄

コロナ禍前までは貸切バスで県内外各所に赴き研鑽と親睦を重ねてまいりました。今年度の検討時期にあたり、コロナウイルス感染者数が全国的に増加傾向にあることから、コロナ感染防止のため従前の通り研修旅行の実施は取り止めとしました。代わりに昨年も好評だった講演会を実施する運びとなりました。当日は、一七名の会員の参加を得、「徳川家康の時代と春日部」という演題のもと春日部市教育委員会文化財担当課長兼郷土資料館長 實松幸男氏にご講演をいただきました。實松氏は、家康の年譜・春日部市の社寺や名主宅に残された古文書を読み解き時代考証を行いながら、お話を進めてくださいました。古文書からは書き手や当時の世情を知ること

ができました。また、古文書をよりどころに現在の春日部市だけでなく、岩槻・幸手など近隣市区町との関係性をふまえつつ、日光道・奥州道の要衝に位置する粕壁宿。その成り立ちなど、歴史の流れに思いをはせることができました。大変充実した研修となりました。



越谷市 山口 竹美

越谷班は、本年度も市教委と連携し、小学生を対象とする放課後の学習支援事業「こぼと塾」に会員を派遣させていただき、一年を通して学校支援活動を展開している。この学校支援活動については、来年度の「現職・退職校長教育推進協議会」において、発表の機会を頂きましたので、越谷班の取り組みとして具体的に説明したいと考えています。市単独の研修は、一一月一

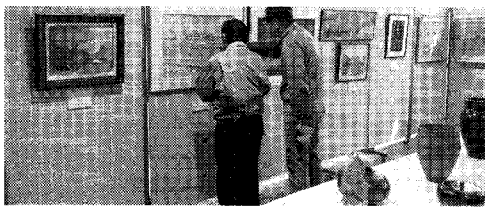
七日（金）サンシティ越谷の小ホールで映画「銀河鉄道の父」を鑑賞した。また、来年度、越谷市が「現職・退職校長教育推進協議会」会場となることもあり、会場のよりスムーズな運営を目指し、年三回の幹事会を実施している。ただ、八月に実施する予定だった現職校長・市教委との教育懇談会は、コロナとインフルエンザの感染拡大の影響を考え中止とした。令和五年の会員数は百名となった。越谷班としては会員にとつて参加し甲斐のある魅力ある事業をこれからも展開していきたい。

久喜市 神谷 園江

五月の総会を経て、一〇月二日の親睦旅行は昨年からはじめた「東京探訪」。本年は文京区白山にある小石川植物園だ。旧東京医学校旧館はじめ、冷温室や分類標本園、葉草保存園など長い歴史を物語る。

大都会の真ん中にもかかわらず大木に囲まれた閑静な植物園の静寂は、心安まる豊かな時間を与えてくれた。交通手段が鉄道なので内容とは別に課題もある。

二月の文化活動発表会は、趣味や特技、愛好等で取り組んでいる絵画や写真、彫刻、書、俳句・短歌、陶芸等何でもありの表現の場。現職の校長先生の作品や遺作も発表できる。趣味の域をはるかに超える傑作もあり。一般公開なので、外部の方々も会場に足を運び、恩師の力作を楽しんでいた。三月には情報交換・提供をかねて、年一回の会報を発行し、活動の軌跡を記録。その他、四地区の特性を生かした活動をそれぞれ展開している。



八潮市 狩野 勉

新型コロナウイルス感染症が五類に移行され、役員会を開催して総会準備をした。

総会では全ての議案が承認され、事業がスタートした。

本年度の重点は、総会後の講演会、会員の現地研修会、グラウンドゴルフ交流会、そしてこれらを円滑に実施するための幹事会の定例化である。

総会後の講演会は、次年度の「市町研修」会場を念頭に八潮資料館にて「八潮市の誕生から今までの生い立ち」をテーマに講演していただいた。

現地研修は、「両国界隈の散策」として、一〇月七日両国駅から両国橋、吉良邸跡、時津風部屋、勝海舟の生誕地、東京都復興記念館の散策を実施。昼食は寺尾亭でちゃんこ鍋をおいしくいただいた。

地域交流を深めるグラウンドゴルフ交流会は、六月一〇日と十一月四日の二回実施した。その他の事業としては、児

童生徒を対象に、毎週土曜日開催している「フリーライニング」や「夏休み主題大作戦」を実施してきました。

今後は、幹事会で次年度の『市町研修』の取り組みを中心に企画を進めたい。

蓮田市 小澤 勇

本年度はコロナ禍前の活動をめざし、会員相互のコミュニケーションと取り組んだ。

四月の定期総会では会員の齋藤庸夫氏から「秩父事件の歴史的価値を探る」講演をいただいた。よき研修ができた。

七月にはフレイル（加齢により心身が衰えた状態）予防のための健康教室を開催した。昼食をさみながら体に気をつけている話題で会話が進んだ。

一〇月には年に数校開かれる「蓮田市教育の日」研究発表会に会員の参観をお願いし教育内容の変化を直接学ぶ機会を設けることができた。

一月は研修旅行である。

午前川越市をガイドの案内で見学し、午後は鳩山JAXA地球観測センターを訪れた。

地球の環境状態を観測する衛星は今日重要な役割を果たしている。豊かな自然に囲まれたセンター内には巨大なパラボアンテナが三基設置され、衛星から送られてくる地球の様々な画像を見ることが出来る。また理解しやすいように展示も工夫もされ、今は小学生の見学もたいへん多いという。

一月は新年会を予定しており、懇親会ができればと思っている。

三郷市 代田 代次

三郷市では毎年秋季に体と脳の健康維持のために「現地研修会」を行っています。

本年度は一〇月一日（日）隅田川クルージングと浜離宮見学を実施しました。

浅草駅に集合し、水上バスに乗り込み、隅田川の見学と

吾妻橋から下流にある様々な

歴史のある橋を下から堪能しました。特に勝鬨橋が両側に開いたことに関心が集まりました。約四〇分程でウオーター竹芝に着き、徒歩で浜離宮の中の御門に到着。この日は都民の日ということで入園料が無料でした。浜離宮は海水を引き入れた潮入りの池として二つの鴨場を伝え、江戸時代には江戸城の「出城」としての機能を果たしていた徳川家の庭園。歴史的な話題として、将軍が上覧するため品川沖に迷いこんだ鯨をここまで船で引いて来た。中国から長崎に連れて来た象を浜離宮で飼育していて、吉宗もこの象を見たようだ。鳥羽伏見の戦いでは、将軍慶喜が大阪から船で逃げ帰った場所もある。江戸検定の資格を有する会員のガイドで浜離宮についての学習を深めることが出来ました。天気にも恵まれ有意義な現地研修だった。

白岡市 小島 利明

本会は発足三五年目を迎え、本年度は新会員一名を迎え、男性二五名、女性二名の総勢二七名で諸行事に取り組んでいる。年会費は、二千円で、七七歳喜寿に達した会員へ花束贈呈をすること、弔事については花輪を供えることとしている。

本会の主な事業としては年二回の全体会である。一つは、年度初めの定期総会とその後市内の小中学校の現職の校長の参加を得て行われる懇親会。もう一つは、二月に次年度に向けての準備を兼ねた新年懇親会を行っている。昨年度の定期総会から全体会を行って、現職の校長の参加はまだ遠慮している。年二回の懇親会の参加率は六〇%程度である。毎年、市教育委員会を通じて一月に行われる市内小中学校の教育研究大会（公開授業）の案内が届く。できるだけ参観するようにしている。

当面の課題

は、現職の校長の参加を得ての懇親会の開催、会員数の拡大に向けての働きかけ、

さらには、会員の学校支援や社会活動を促進し、生涯学習の活性化の一助となるよう努めることと考えている。



宮代町 石川 徹男

令和五年度の総会を、宮代町立図書館で実施しました。時節柄、総会後の懇親会は実施せず、秋の研修旅行も見送りました

本町が当番であった市町研修は、六月一七日、「宮代町の歴史と文化財く水と緑に生きる」をテーマに、宮代町の中村敏明教育長の臨席をいただき、宮代町郷土資料館を会場に、同館の文化財保護委員青木秀雄、同館主査兼学芸員横内美穂両氏を講師に依頼して実施いたしました。

多忙な中、猛暑、不便をいとわず遠路宮代町においでいただいた皆様、西原自然の森の緑陰でのひと時、いかがでしたか？紙面を借りてご参加くださった皆様にお礼申し上げます。

終わりにりましたが、主催する埼葛退職校長会福利厚生部の適切な助言と、前年の蓮田市の貴重な実践情報のおかげで曲がりなりにも、当番市町の責の一端を果たすことができました。宮代町退職校長会としてお礼申し上げます。研修の一コマ



研修の一コマ

幸手市 三澤 昭人

四月定期総会後次の事務を実施

○役員会は年三回行う。そのつど日頃感じていることを発表する中で幸手市の現状や課題や展望等についての意見を

述べる。また、思い出話により、市内の地域生活の変化及びこれからの課題について述べる。さらに各学校の様子として、子供たちの活動状況から地域の人たちに頼られ、かつ誇れるものがあるか。魅力のある学校を感じることできるか考える。

○年令とともに自分の健康状態についても話題にし、これからの注意点や日々の生活様式についても考えてみる。

○一〇月に実施するグランドゴルフ大会については、グループごとの得点表や組分け、けがないような注意事項など確認、距離や斜面などを考えたボールの打ち方など体験し親睦を深めることができた。

○一月埼葛現職退職教育推進協議会では、事務局の指導、市教育委員会市内校長先生方の献身的な協力のおかげで実施することができた。

○忘年会では会員の「おくのほそ道を読む」―芭蕉と曾良を通して―の発表後親睦を深

めることができた。

ぶらり杉戸宿

杉戸町 小須田 優

「ここは日光道中の杉戸宿です。古利根川に沿った、のどかな宿場です。」浅田次郎『流人道中記』に杉戸宿の記述がある。

杉戸班は令和四年一二月三日視察研修「ぶらり杉戸宿」を開催した。コロナ禍で本会の事業は三年間実施できなかった。コロナが下火になりかけた頃、この機会を捉えて何とか視察研修ができないものかと役員で協議している最中、杉戸宿案内人の会が活動を再開するとの情報を得た。もっけの幸いと「ぶらり杉戸宿」を計画した。

当日は会員一名、杉戸宿案内人の会から七名が参加した。七年前、杉戸町では開宿四〇〇年を祝う催しが



あった。私たちは案内人の会の方々から熱心で丁寧な説明を受けることができた。杉戸宿の歴史的建造物に触れ、先人達の暮らしぶりに思いを馳せ、自分達の生活を振り返るきっかけとなった。有意義な一時を過ごすことができた。

松伏町 明戸 洋

松伏町退職校長会の活動は、主に三つです。総会と現職・退職校長懇親会、会員近況報告です。

総会は、令和元年度以来四年ぶりに対面で実施しました。書面審議と違って、お互いに会員同士が顔を合わせての会議では、意見も活発に出されて大いに盛り上がりました。また、令和八年度に松伏町で予定されている「市町研修」の内容まで、意見交換ができました。しかし、残念だったのは新型コロナウイルス流行前には行われていた懇親会ができなかったことです。

現職・退職校長懇談会は、

以前は懇親会であったのですが、やはり新型コロナウイルスの影響で、懇談のみに変わってしまいました。それでも、現職の校長先生方から各校の教育実践や課題への対応状況などをお聞きしていると、退職校長会としても側面からお手伝いできることはないかと考えたりしました。

会員の近況報告は、新型コロナウイルスが流行してから実施するようになりました。会員同士中々顔を合わせることが出来ないのです。紙上で近況を報告し合っているのです。それぞれの生活の工夫や様子が分かって、毎回楽しみます。

吉川市 城取 英孝

コロナ禍により、昨年度まで対面による活動を自粛してきました。今年度は二つの事業を例年通りに実施することになりました。

①四月の総会及び懇親会では三名の新会員を迎え、一七名の参加者により、盛会に開

催することが出来ました。

②一二月に予定されている現職の市内小中学校長会と退職校長会共催による懇親会(忘年会)も例年通りに開催する運びとなりました。やむを得ず欠席となる会員からは、メッセージをいただき、書面で現況を紹介していきたくと考えています。また、せっかくの機会ですので、市教育長、市教委副部長、県立吉川美南高等学校長を来賓としてお招きし、情報交換や親交を深める機会となるよう計画しています。

また、本市の退職校長会の特色として、社会貢献を目的に、青少年育成団体「青少年育成吉川市民会議」に正会員として加盟していることです。そこが主催する吉川駅周辺の清掃活動「クリーン作戦」に市民と共に参加したり、「吉川市青少年健全育成大会」に会員が役員として参加したりし、地域との結びつきを深めています。